

8月の消防広報重点事項

発行 令和7年7月11日

盛岡市危機管理防災課

編集 盛岡中央消防署

夏のレジャー関連製品を正しく使い、安全に楽しみましょう。

夏といえば、海や山でのレジャーの季節。バーベキューや花火など、火を使うことも少なくありません。カセットこんろや着火剤、ガスライターなどの製品は、使い方を誤ると大きな事故につながる可能性があります。製品を正しく使い、安全に楽しく夏休みを過ごしましょう。

<誤った使い方によるカセットボンベの爆発事故が多発しています>

野外での調理によく使われるカセットこんろ。このカセットこんろに装着したカセットボンベが加熱され、爆発する事故が発生しています。カセットこんろを2台並べたり、こんろを覆うような大きな鉄板や鍋などを載せたりしないでください。

熱がこもりやすくなり、カセットボンベが過熱し、爆発することがあります。



🔥ガスボンベが破裂したこんろ🔥

<バーベキューの火起こしなどに使う着火剤。揮発性があるため、つぎ足しは厳禁>

アウトドアでの食事の楽しみといえばバーベキューです。着火剤を、火が弱くなってきたからといって、つぎ足すことは非常に危険です。突然火が大きくなったり、火が飛び散ったりしたことで、火傷をした事故が報告されています。着火剤を用いて点火するときには、十分な距離を取り、適量を守る、つぎ足しは絶対にしないなど、注意事項を守って正しく使いましょう。

<花火遊びには必ず大人が付き添って、浴衣姿は火に注意>

事故を防ぐためにも、花火には必ず大人が付き添い、火の危険性を教え、着火用のライターはこどもの手の届かないところで管理し、こどもだけで遊ばせないようにしましょう。

また、花火やろうそくなど火を使う場所では、浴衣の袖や裾などが火に触れないように、十分距離に注意しましょう。

浴衣は綿素材のものが多く、火がつくと一気に燃え上がります。

山の事故を防ぎましょう！

山のレジャーを安全に楽しんでいただけるよう、「山の事故」を防ぐ6つのポイントをまとめましたので、是非、参考にしてください。

○「山の事故」を防ぐ6つのポイント

① 事前の情報収集を万全に

登山など山のレジャーを安全に楽しむためには、事前の情報収集が大切です。登山する山の地形や登山道、過去の事故情報などを把握し、装備や服装・ルート選び・スケジュール作成の参考にしましょう。登山者の体力、体調、登山の経験に見合った山を選択しましょう。

② 無理のない登山計画を

安全な登山は、どの山に登るかという計画から始まります。登山者の体力や体調、登山の経験や技量などに見合った山やコースを選びましょう。

③ 登山計画書の作成、提出

登山計画を立てたら、登山者の氏名や連絡先、日程やコースなどを「登山計画書」にまとめ、登山口などに設置されている「登山届ポスト」、自治体、山を管轄する都道府県警察などに提出しておきましょう。

④ 服装、地図、通信手段など万全の装備を

登山に適した装備は、登山をする時期や、山の気候、登山の行程（日帰りか宿泊か）などによって異なります。登山計画を基に、どのような装備が必要かを考え、万全の準備で登山に臨みましょう。

⑤ 冷静な状況判断と慎重な行動を

山岳避難の大きな要因として、天候の急変や不十分な装備で体力的に無理な計画を決行してしまったことなどが挙げられます。状況を冷静に判断して、早めに中止するか、引き返すよう努めましょう。

⑥ 下山のときこそ細心の注意を！

遭難事故は下山時に多く起きています。足元に注意をしながらゆっくり、慎重に進むことを心掛けましょう。また、道迷いにも気を付けなければいけません。下ばかり見て進んでしまうと、登山道にある看板などを見落として間違った道に入ってしまう危険性があります。もし、道に迷ってしまったら、そのまま下山をするのではなく、元の道に引き返すようにしましょう。

盛岡市内の1月から6月までの火災件数

	令和7年	令和6年	比較増減
火災件数	24件	25件	1件減
死者数	3人	3人	増減なし

令和7年6月中の火災3件の内訳

6月8日 向中野七丁目 物品販売店舗1棟ぼや
6月9日 西松園二丁目 共同住宅1棟ぼや
6月23日 浅岸三丁目 車両1台焼損